

## マーケットの動き（2022年1月10日～1月14日）

先週の米国株式市場は、前週末比で下落しました。

FRB（米国連邦準備制度理事会）理事であるブレイナード氏などの発言を受けて、金融引き締めの前倒し観測が強まったほか、12月の米国小売売上が市場予想を下回り、新型コロナウイルス「オミクロン型」の世界的流行によるサプライチェーンの混乱懸念が高まったことなどが影響しました。一方、欧州市場もエネルギー価格の高騰によるインフレ懸念が高まる中、おおむね米国に連動した推移となりました。

## 投資環境見通し（2022年1月）

## 外国株式相場は堅調な企業業績に支えられ、緩やかに上昇

**米国：**株式相場は、新型コロナウイルス「オミクロン型」による景気下振れ懸念や金融政策正常化を巡る警戒感などから不安定な状況にあります。しかし、企業業績については感染拡大やインフレ環境下においても底堅さをみせる個人消費に支えられ、改善基調を維持できるとみています。また、FRB（米国連邦準備制度理事会）は今後の金融政策正常化に向けて、金融市場に十分配慮しながら政策変更を行うと考えられます。株式相場は好調な企業業績が確認されるとともに緩やかに上昇すると予想しています。

**欧州：**新型コロナウイルスを巡る各国の対応やエネルギー価格の動向から変動率が高まる可能性があります。好調な欧米経済を背景に堅調な企業業績が見込まれることから、底堅く推移するとみています。

	1月14日	騰落率			
		前週比	1ヵ月前比	6ヵ月前比	1年前比
S&P500種株価指数	4,662.85	▲0.30%	0.62%	6.60%	22.85%
NYダウ	35,911.81	▲0.88%	1.03%	2.80%	15.88%

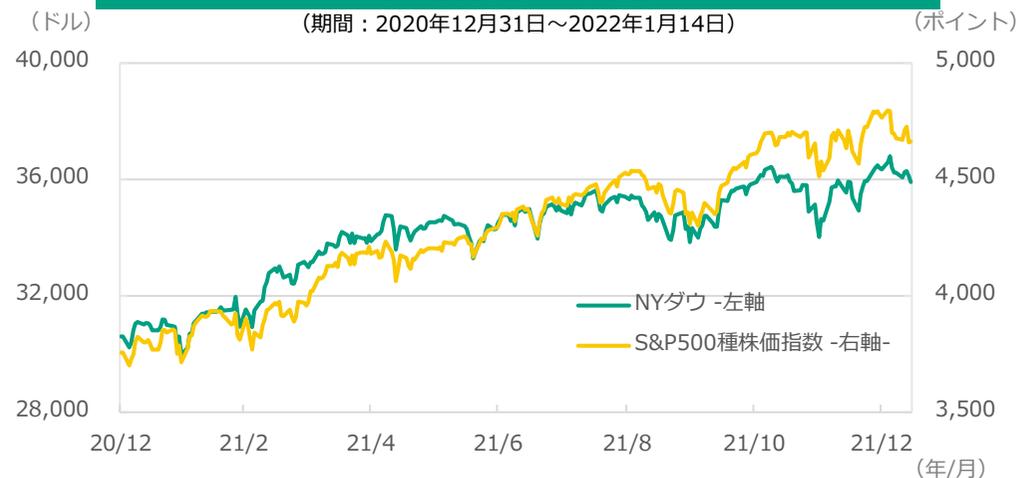
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

[https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload\\_pdf/202201\\_outlook.pdf](https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202201_outlook.pdf)

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客様の投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客様自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

## 米国株価指数の推移



## 主要国株価指数の推移



※2020年12月31日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成